

【7/1(土)～7/3(月)】広島県福山市周辺のサウナーやお風呂好きの方におすすめ！

映画『もう一度生まれる』福山駅前シネマモードで公開 ～ 半券割引など、同施設5F「カプセル&サウナ日本」とのコラボも！～

株式会社クリーク・アンド・リバー社(本社:東京都港区、代表取締役社長:黒崎 淳、以下C&R社)とギャガ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長 CEO:依田 巽、以下GAGA)がサポートする映画『もう一度生まれる』およびドキュメンタリー作品『還る』(監督:堀川湧気)が、7月1日(土)～3日(月)の3日間、広島県福山市の「福山駅前シネマモード」で公開されます。なお、同施設5階の「カプセル&サウナ日本」では、『もう一度生まれる』とのコラボレーションイベント「もう一度なーさう」を開催予定。7月3日(月)の「なーさうの日」に選りすぐりの熱波師によるロウリュ&アフグース*が予定されているほか、映画公開中の3日間『もう一度生まれる』のチケット半券でサウナ入浴料金(フリータイムのみ)や館内リラクゼーション店のボディケア料金が1,000円割引になるキャンペーンも実施されます。

*ロウリュとは…サウナストーンに水やアロマオイルをかけて蒸気を発生させること。フィンランド発祥のサウナ入浴法。
アフグースとは…ロウリュによって発生した蒸気をタオルなどであおいで熱風を楽しむサウナの入浴法。ドイツ発祥。

映画『もう一度生まれる』作品情報

■日程

2023年7月1日(土)～7月3日(月)

■場所

福山駅前シネマモード

広島県福山市伏見町4-33

地図: https://www.furec.jp/cinema-mode/theater/#access_parking

■監督・脚本・編集・プロデューサー

堀川湧気(※プロフィールは3頁目)

■キャスト

齊藤天鼓／笠松七海／入江崇史／伊澤恵美子／
沖田裕樹／小山蓮

■ロケ地

おふろの国

■制作協力

ニューシネマワークショップ

■サポート

ギャガ株式会社

株式会社クリーク・アンド・リバー社

▼予告編はこちらから

<https://youtu.be/QBwKHswTACg>

▼映画『もう一度生まれる』の作品情報ははこちらから

<https://www.creativevillage.ne.jp/category/lp/128500/?rls>

© 2021 堀川組「もう一度生まれる」制作チーム

【あらすじ】

スーパー銭湯の新人清掃員として働く市川亮太(20)は仕事を通し、“当たり前”の景色を保つこと“の難しさを知っていく。髪の毛1本でも気にする仕事の姿勢や、心臓部でもある「ろ過装置」の存在を知ることによって、清掃業の世界にのめり込んでいく。次第に、スーパー銭湯を物として捉えるのではなく、生き物であると捉えるようになる。そんな中、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、スーパー銭湯は休業を余儀なくされる。休業の間、清掃作業からも遠ざかり、客を迎え入れていた“当たり前”の景色“は失われていった。休業期間が長引く中、店長から1通のメールが届く。それは営業再開に踏み切ることなく、スーパー銭湯の閉店を知らせるものであった。メールを通し、閉店を知った亮太は、大きな喪失感を露わにしていく。清掃員たちは各々の形で、スーパー銭湯の最期に向き合うことになる。休業期間の浴場施設に足を踏み入れた亮太は、黒カビが生えた浴室を見て、「休業中もこの空間は生きていた」と改めて実感する。閉店を前に、亮太と清掃員たちの最期の清掃作業がはじまっていく…

【映画『もう一度生まれる』について】

『もう一度生まれる』は、C&R社の映像制作専門職社員・堀川湧気が監督を務めた自主制作映画です。コロナ禍で閉店を余儀なくされたスーパー銭湯を舞台に“喪失”と“再生”の2つの時間を描いた作品で、「第8回 京都国際映画祭」の「クリエイターズ・ファクトリー」エンターテインメント部門において入選および優秀賞を受賞したほか、「第32回 とうばり国際ファンタスティック映画祭」においても入選を果たしております。自主制作映画にもかかわらず、映画監督・岩井俊二さんや俳優・別所哲也さんなどの著名人からも高い支持を受けており、今回、池袋シネマ・ロサ、横浜・ジャック&ベティ、京都・出町座、大阪・第七藝術劇場、名古屋・伏見ミリオン座に続き、福山駅前シネマモードでの公開が決定いたしました。

本作品は、コロナ禍の2021年4月から5月にかけて撮影された作品です。堀川監督は、平日にフジテレビ報道番組「Live News α」の番組制作に携わったかわら、土日の空いた時間で映画制作のワークショップに通いながら本作を制作。「番組でもコロナ禍で苦しむ方々の想いや裏側に迫る時間が非常に増え、その際に見た、こぼれ落ちた想いや景色を何とかして、映像におとし込むことができなかつた」と制作のきっかけについて語っております。コロナ禍において、私たちの“日常”に訪れた変化の数々。せわしない日々の中で忘れてしまいそうな「大切な何か」を見つめなおしたい方や心を“ととのえたい”方にもピッタリの作品です。なお、堀川監督は、「音にもこだわった」とも語っており、本作を劇場で鑑賞した方からは「お湯の循環音や清掃音がとにかく心地よかった」との感想もいただいております。

【報道機関からのお問い合わせ先】

株式会社クリーク・アンド・リバー社 経営企画部 creek@hq.cri.co.jp

TEL: 03-4550-0008 FAX: 03-4550-0018 URL: <https://www.cri.co.jp>

堀川湧気 プロフィール



1995年生まれ。27歳。日本大学芸術学部映画学科で、映画やドキュメンタリーの制作について学ぶ。卒業時に優秀な卒業制作・論文に贈呈される「日藝・特別賞」を受賞。在学時、監督したショートフィルムがNHK「岩井俊二のMovieラボ シーズン2」にノミネートされ、テレビ出演を果たすと同時に岩井俊二監督と堤幸彦監督に作品についての講評を受ける。大学卒業後は、映像制作専門職社員としてクリーク・アンド・リバー社に入社。現在、フジテレビの報道番組「Live News α」の制作に携わっている。

2021年、監督・脚本・編集を務めた映画「もう一度生まれる」が京都国際映画祭にノミネート。ノミネートを通じて、準グランプリにあたる優秀賞も受賞した。

Instagram: <https://www.instagram.com/horikawa.yuki>

Twitter: <https://twitter.com/horiyuu06210>

<関連情報>

▼FNNプライムオンライン堀川湧気監督 インタビュー記事

<https://www.fnn.jp/articles/-/260521>

【本作に関するお問い合わせ】

株式会社クリーク・アンド・リバー社

映画『もう一度生まれる』担当

<https://forms.office.com/r/DXwjJi4q3q>

【C&R社の映像制作について】

C&R社が制作に携わった情報・報道番組においては、今年、「めざましテレビ」ニュース班によるウクライナからの避難家族に関する報道活動が第60回ギャラクシー賞・報道活動部門で奨励賞を受賞いたしました。2021年には、ドキュメンタリー番組『死ぬまで生きてやろうじゃないか ～阪神・淡路大震災25年 神戸からの“音”がえし～』（制作：読売テレビ）が「第54回ヒューストン国際映画祭」ドキュメンタリー部門シルバー賞のほか、「ニューヨーク・フェスティバル」と「日本賞」の2つの国際的なコンクールでファイナリストに選ばれております。また、2020年には、緊急報道特別番組『コロナ重症病棟 医師たちの闘い』が「新聞協会賞」を受賞。2019年には、ドキュメンタリー番組『ザ・ノンフィクション 父を殺した母へ～無理心中から17年目の旅～』（制作著作：フジテレビ、制作協力：C&R社）が「ニューヨーク・フェスティバル」で銅賞を受賞するなど、国内外から高い評価をいただいております。C&R社は今後も、ミッションである「プロフェッショナルの生涯価値の向上」のもと、クリエイターの方々がその能力を最大限に発揮できる環境づくりをめざしてまいります。

■株式会社クリーク・アンド・リバー社 会社概要

本 社：東京都港区新橋四丁目1番1号 新虎通りCORE

設 立：1990年3月

代 表 者：代表取締役社長 黒崎 淳

拠 点：東京(本社)・大阪・札幌・仙台・さいたま・横浜・川崎・船橋・高崎・金沢・名古屋・京都・神戸・高松・広島・福岡・熊本・那覇／ソウル・上海・北京・ロサンゼルス

事業内容：映像、ゲーム、Web、広告・出版、作家、医療、IT、会計、法曹、建築、ファッション、食、コンピュータサイエンス、ライフサイエンス、舞台芸術、CXO、アスリート、アグリカルチャーの18分野でプロフェッショナルに特化したエージェンシー(派遣・紹介)、プロデュース(開発・請負)、ライツマネジメント(知的財産の企画開発・流通)事業を展開。プロフェッショナルの叡智で革新的な事業を無限に創造している。

U R L： <https://www.cri.co.jp> (コーポレートサイト) | <https://www.cri.co.jp/website-sns/> (公式サイト・SNS一覧)

<https://www.creativevillage.ne.jp/> (プロフェッショナル×つながる×メディア「CREATIVE VILLAGE」)



【報道機関からのお問い合わせ先】

株式会社クリーク・アンド・リバー社 経営企画部 creek@hq.cri.co.jp

TEL: 03-4550-0008 FAX: 03-4550-0018 URL: <https://www.cri.co.jp>